

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第43期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 イマジニア株式会社

【英訳名】 Imagineer Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 澄岡 和憲

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期 連結累計期間	第43期 第1四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	1,067,620	951,355	5,164,880
経常利益 (千円)	154,144	71,305	750,991
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	109,872	40,058	503,615
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	147,146	849	674,250
純資産 (千円)	9,401,807	9,689,820	9,808,940
総資産 (千円)	10,106,187	10,453,596	10,671,101
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	11.44	4.17	52.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	92.4	91.8	91.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復しております。ただし、先行きについては、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響、中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響等のリスクがあります。

当社グループは、創業以来の事業であるコンテンツ事業に経営資源を集中し、当該事業の更なる成長により企業価値の向上を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高951,355千円（前年同期比10.9%減）、営業利益73,109千円（前年同期比0.9%減）、経常利益71,305千円（前年同期比53.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益40,058千円（前年同期比63.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業の売上高は950,903千円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益164,971千円（前年同期比0.2%増）となりました。

当該事業の更なる成長を目指して、スマートフォン向けゲームを軸としつつパッケージソフトやリアル商品など他のコンテンツビジネスへの領域拡大やコンテンツビジネス間のシナジーを一層、図るべく取り組んでおります。

主軸のスマートフォン向けゲームにおいては、人気キャラクター「リラックマ」において初めてとなる農園ゲームを2019年8月下旬での提供を目指し、また、人気ゲームシリーズ「メダロット」の最新作をシリーズ初のスマートフォン向けゲームとして2019年秋冬期での提供を目指して、それぞれ開発中であります。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業の売上高は452千円（前年同期比6.0%増）、セグメント損失9,946千円（前年同期は15,492千円のセグメント損失）となりました。

当該事業では2019年2月に決定した事業中止の方針に基づき、事業中止を終えるよう進めております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して217,504千円減少した10,453,596千円となりました。その主な要因は、売掛金が185,987千円及び投資有価証券が68,288千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して98,384千円減少した763,776千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が39,486千円及び営業未払金が22,938千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して119,120千円減少した9,689,820千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が79,911千円の減少となったことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は63,685千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,480,000
計	47,480,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,649,000	10,649,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,649,000	10,649,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		10,649		2,669,000		667,250

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,051,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,595,000	95,950	
単元未満株式	普通株式 2,700		
発行済株式総数	10,649,000		
総株主の議決権		95,950	

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3,300株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が33個含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イマジニア株式会社	東京都新宿区 西新宿二丁目7番1号	1,051,300		1,051,300	9.9
計		1,051,300		1,051,300	9.9

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,366,524	6,391,774
売掛金	1,007,846	821,858
有価証券	3,239	3,197
商品及び製品	7,769	10,134
仕掛品	3,472	17,332
原材料及び貯蔵品	19	2
その他	35,254	16,792
貸倒引当金	826	947
流動資産合計	7,423,300	7,260,145
固定資産		
有形固定資産	39,966	37,696
無形固定資産	6,946	6,590
投資その他の資産		
投資有価証券	2,719,897	2,651,608
破産更生債権等	120,313	116,844
その他	484,390	500,955
貸倒引当金	123,713	120,244
投資その他の資産合計	3,200,887	3,149,164
固定資産合計	3,247,801	3,193,451
資産合計	10,671,101	10,453,596
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,939	14,447
営業未払金	452,628	429,689
未払法人税等	56,257	16,770
賞与引当金		8,250
返品調整引当金	1,488	1,569
その他	332,846	293,048
流動負債合計	862,160	763,776
固定負債		
負債合計	862,160	763,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	5,288,728	5,208,817
自己株式	622,364	622,364
株主資本合計	9,801,387	9,721,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,887	125,301
その他の包括利益累計額合計	79,887	125,301
非支配株主持分	87,441	93,645
純資産合計	9,808,940	9,689,820
負債純資産合計	10,671,101	10,453,596

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,067,620	951,355
売上原価	479,762	398,427
売上総利益	587,858	552,928
返品調整引当金繰入額		80
差引売上総利益	587,858	552,847
販売費及び一般管理費	514,069	479,738
営業利益	73,788	73,109
営業外収益		
受取配当金	56,684	21,281
為替差益	24,701	
その他	1,625	2,220
営業外収益合計	83,012	23,501
営業外費用		
為替差損		22,393
投資事業組合運用損	1,571	
持分法による投資損失	1,048	2,886
その他	35	25
営業外費用合計	2,655	25,305
経常利益	154,144	71,305
税金等調整前四半期純利益	154,144	71,305
法人税、住民税及び事業税	17,830	15,056
法人税等調整額	26,255	9,985
法人税等合計	44,085	25,042
四半期純利益	110,059	46,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	187	6,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,872	40,058

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	110,059	46,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,087	45,413
その他の包括利益合計	37,087	45,413
四半期包括利益	147,146	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,959	5,354
非支配株主に係る四半期包括利益	187	6,204

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	4,028 千円	2,864 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	143,964	15	2018年3月31日	2018年6月7日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	119,970	12.5	2019年3月31日	2019年6月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	1,067,193	426	1,067,620	-	1,067,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,067,193	426	1,067,620	-	1,067,620
セグメント利益 又は損失()	164,709	15,492	149,217	75,429	73,788

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去812千円、各報告セグメントに配分していない全社費用74,616千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	950,903	452	951,355	-	951,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	950,903	452	951,355	-	951,355
セグメント利益 又は損失()	164,971	9,946	155,024	81,915	73,109

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去 150千円、各報告セグメントに配分していない全社費用82,065千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	11円44銭	4円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	109,872	40,058
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	109,872	40,058
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,597	9,597

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2019年5月15日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....119百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....12円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年6月6日

(注) 2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

イマジニア 株式会社
取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐 山 正 則 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川 久 保 孝 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイマジニア株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イマジニア株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。